

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月21日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0194200044 | | |
| 法人名 | 有限会社 M&Y | | |
| 事業所名 | グループホーム 羅臼しおさい | | |
| 所在地 | 北海道目梨郡羅臼町湯ノ沢町14番5 (電話) 0153-87-6160 | | |
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 | | |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月19日 | 評価確定日 | 平成21年4月30日 |

【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|----------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)19年12月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 17人 | 常勤 | 15人, 非常勤 2人, 常勤換算 13.16人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|--------|--|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 2階建ての | 1~2階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|---------|------|
| 家賃(平均月額) | 34,000円 | その他の経費(月額) | 8,200円 | |
| 敷金 | (有) 80,000円 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | (有) 80,000円 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / (無) | |
| 食材料費 | 朝食 | 420円 | 昼食 | 420円 |
| | 夕食 | 420円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|------|----|-----|
| 利用者人数 | 16名 | 男性 | 6名 | 女性 | 10名 |
| 要介護1 | 6名 | 要介護2 | 4名 | | |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 3名 | | |
| 要介護5 | | | 要支援2 | | |
| 年齢 | 平均 82.5歳 | 最低 | 69歳 | 最高 | 90歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 羅臼町立診療所 中標津町立病院 川上歯科医院 |
|---------|------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然が豊かな場所に建られたこのホームは地域に密着したホームを目指し、地域の方々からホーム名を公募し名前が付けられています。隣接の福祉センター内に温泉施設があり、入浴可能で利用者の楽しみごとになっています。管理者や職員は開設当初から地域の方々に、ホームを理解して貰えるように折り込みチラシを利用して啓発活動に努めています。また、近隣の観光地の知床峠へのドライブや地域のお祭りの三社祭りや漁火祭りに参加し、お正月には地元の神社へ初詣へ行くなどして、一人ひとりの希望や習慣に合わせて支援しています。高校生の体験学習やヘルパーの実習の受け入れをして、地域に認知症を理解して貰う取り組みを行っています。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の外部評価は初回の受審です。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価は、全ての職員が参加して行われ、各ユニットのリーダーがまとめて作成しています。管理者及び職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、業務の見直しやケアサービスを振り返る機会として捉えています。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。主な議題についてはホームの近況報告 ホームの年間行事の参加と協力の依頼 後期高齢者医療制度について 防火・避難訓練の協力依頼 運営推進会議の役割について |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 毎月の「しおさい通信」で、ホーム内の取り組みや行事や日常の様子、連絡事項を一人ひとりに写真を交え、手書きでのお便り文を記載し、金銭管理についても報告されています。また、状態の変化があれば随時、家族へ電話で報告しています。健康状態や生活状況についても来訪時に報告されており、意見や不安などへの対応も行われています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町の三社祭り、豊漁祈願祭、知床開き、漁火祭り等の行事に参加しており、ホームの野外昼食会には、老人会や役場の職員の方々の参加や協力をいただいています。また、地域の小学校の運動会や幼稚園の学芸会の招待もあり、地域の方々と交流することに努めています。また、高校生の体験実習やヘルパー講習の受け入れなども行っています。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|--|
| .理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 母体法人の運営理念をもとに、グループホーム独自の理念をつくり、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は居間の目に付く場所に掲示されており、管理者は理念の達成のために、職員にわかりやすく説明して職員間で話し合わせ、日々、実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町の三社祭り、豊漁祈願祭、知床開き、漁火祭り等の行事に参加しており、ホームの野外昼食会には、老人会や役場の職員の方々の参加や協力をいただいている。また、地域の小学校の運動会や幼稚園の学芸会の招待もあり、地域の方々と交流することに努めている。 | | ホームを社会見学や実習の場として提供しており、高校生の体験実習やヘルパー講習の受け入れなども行っている。また、高校生の実習の受け入れの際には、認知症についての講習会を行い、ホームを理解してもらう取り組みを行っている。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は、全ての職員が参加して行われ、各ユニットのリーダーがまとめて作成している。管理者及び職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、業務の見直しやケアサービスを振り返る機会として捉えている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは家族会会長、町内会長、女性連、包括支援センター職員、町職員、法人代表、管理者、介護支援専門員で構成され、ホームを理解して貰えるように具体的な活動に取り組んでいる。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>町の福祉課の担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、気軽に相談や情報交換できる関係を築いている。また、管理者は継続して行政機関に対しホームを理解してもらおう働きかけに取り組んでおり、徐々にではあるが理解も進んでいる。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月の「しおさい通信」で、ホーム内の取り組みや行事や日常の様子、連絡事項を一人ひとりに写真を交え、手書きでのお便り文を記載し、金銭出納についても報告されている。また、状態の変化があれば随時、家族へ電話で報告している。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>健康状態や生活状況について来訪時に報告されており、意見や不安などへの対応も行われている。家族会や運営推進会議でのホームの活動や運営について意見や話し合いが行われており、外部者へ表せる機会を設けて、それらを運営に反映させている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>管理者は、職員がなるべくストレスを溜めないように仕事上の悩みや相談ごとを聞くようにして離職を抑える努力をしている。異動の際も、各ユニットの交流を盛んに行い、利用者と馴染みの関係を作って不安を与えないように努め、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>なるべく多くの職員が外部の研修に参加できるように取り組んでおり、研修報告会も開催している。また、ホーム内でも職員間で持ち回りして口腔ケアや排泄の勉強会や個々に技術講習会を開催して、現場に即した研修を実施している。今後は交換研修も行えるように検討している。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>現在は開設一年目という事や地域性もあり、同業者との交流は積極的には図られていないものの、今後、交換研修での相互訪問や外部の研修会に積極的に参加できるように検討している。</p> | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用する前には、本人にホームを見学していただき、職員や利用者と場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら取り組んでいる。また、地域密着性を活かし、地域の友人や知人に気軽にホームに来ていただき、安心してホームで過ごせるように支援している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は利用者と調理や後片づけやテーブル拭き、畑作業、雪かきなどの役割ごとを日常の関わりの中で共に行いながら、その中で喜怒哀楽を共にし本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | センター方式で本人の生活歴を踏まえ、日常生活の中で表情や会話から利用者の希望や意向を把握し、職員間で情報を共有しており、買い物、散歩、入浴、飲み物などに本人が選べる場面を作り、本人本位の生活が実現できるように支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | センター方式を活用して利用者との日常生活の会話や係わりの中で本人、家族から情報を収集して介護計画に反映させており、介護支援専門員を中心に各ユニットリーダーが職員全員の意見や希望を取り入れた介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者の状態の変化に応じて期間終了前でも見直しが行われており、現状に即した新たな計画を作成している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院や買い物、散歩の要望にも柔軟に対応している。また、気晴らしのドライブなど、なるべく本人の希望が実現できるように支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 町立病院の看護師とは、いつでも相談できる関係が築かれている。受診は基本的には、家族が対応しているが、都合が悪い場合や緊急を要する場合はホームで対応しており、本人及び家族が希望するかかりつけ医に受診できるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、ホームで可能な限り対応し、医療機関と連携を密にして利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応を心掛けており、損ねる場合があった時には対応が適切だったかを職員間で検討している。また、記録等の個人情報については十分注意している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 生活歴や日常生活の中から利用者個々の気持ちを把握し、職員全員で共有している。利用者の希望や思いを尊重し、調理や食事の準備、雪かきや畑作業などの役割ごとの支援や入浴や食事の好みの物の提供など本人の希望やペースに沿って支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事が楽しみなものになるように体調や好みに合わせて提供している。メニューを考えてもらったり、調理や茶碗拭きなどの後片づけなどを一緒に行っている。また、献立は好みや食べたい物の聞き取りをして町の保健師にアドバイス貰い作成しており、時には利用者の家族から地元の海産物の差し入れがある。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 3日に一度は入浴できるように支援しており利用者の習慣や体調、希望に合わせて柔軟に対応している。時には、隣接している福祉センターの温泉に入りに行くこともあり入浴を楽しめるように支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | センター方式の生活歴を踏まえ、食事の配膳、テーブル拭き、食器拭き、食器洗いなどの食事の際の役割ごとの他、洗濯ものたたみや掃除、畑の作業、雪かきなどの一人ひとりの力を活かした役割がある。また、散歩や買い物、ドライブなどの気晴らしの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 本人の希望や体調に合わせて散歩・買い物・畑作業などを自由に楽しめるよう支援している。また、希望があれば、近効の観光地や町内のドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯の目的以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 防火管理者を設置しており、火災等の緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を作成し、年2回、利用者とともに避難訓練を実施している。また、隣接する福祉センターと共同で避難訓練も実施している。 | | 今後は、日頃より地域の人々の協力を得られるように働きかけ地域の人々を含めた防火・防災計画や火災避難訓練を検討している。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は定期的に町の保健師に、高齢者の食事として適切であるかアドバイスを貰っている。また、食事量・水分摂取量を記録し、メニューもおおまかなカロリーや栄養バランスを把握し、体調の変化に応じて個別に対応している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広い共用スペースは、壁には利用者が書いた習字やみんなで歌う歌詞を掲示し、行事や日常の様子の写真、花や季節感ある物を飾り、座敷のスペースは、洗濯物を畳んだり、利用者同士が対話する場所として活用されている。調理の音や香りで生活感を感じられるように配慮し、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には仏壇や家族の写真を持参されたり、使い慣れたタンスやベットが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。